

非常時にバッテリー式
フォークリフトが
電源に早変わり！！

KEEPS

非常用電源供給装置

概要説明資料

概要

KEEPSとは

- 非常時（主に停電時）に必要な電源をバッテリー式フォークリフトをDC/AC切替装置（KEEPS）に接続することによって停電時でも電力を賄える制御装置です。

KEEPSは最大3kwの出力

- 1.5tフォークリフトの場合、最長3.5～4時間の連続使用が可能となります。
- 更にフォークリフト2台接続可能で、使用可能時間を延長する事ができます。

別途バッテリーを新たに準備する必要が無い

- 停電時の電力供給に使用できる他、日頃から点検しているバッテリーを使用する事で、いざと言うときにも直ぐに使用可能であり、「経済的」で「合理的」なシステムです。

非常時の事業継続に必要な電源確保以外にも

- キュービクルの定期メンテナンス時などに特定負荷の電力を止めることなく電力を使用出来るなど現場の稼動を止めることなく停電が行えるメリットもあります。

機能と利点



停電時の電力供給を
KEEP（持続）



非常時に情報収集の作業を
KEEP（保つ）



BCPの運用を
KEEP（守る）

BCP（事業継続計画）とは

災害などリスクが発生したときに重要業務が中断しないこと。また、万一事業活動が中断した場合でも、目標復旧時間内に重要な機能を再開させ、業務中断に伴うリスクを最低限にするために、平時から事業継続について戦略的に準備しておく計画。

2006年4月（中央防災会議）では、2015年度までの10年間に、大企業の全てと中小企業の半数以上の設定を目標としている。

用途

常時

- 分電盤メンテナンスなどによる停電時にも電力供給を行うことが可能。
- BCP対策の一環として

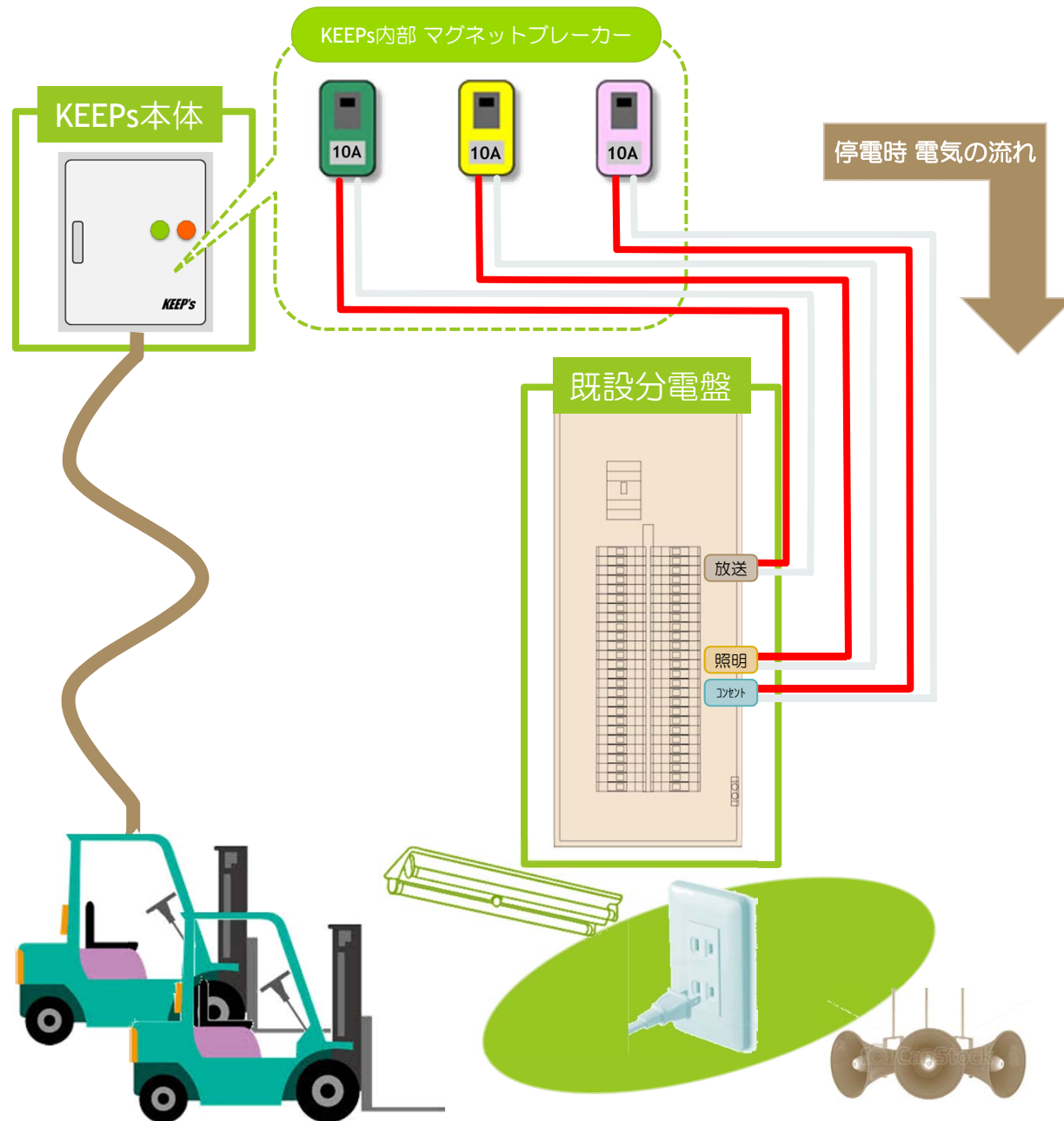
停電時

- PCやプリンターなど、停電時に於いても事業を継続できる。
- 照明や放送設備、電話や携帯電話の充電、テレビなど情報を得る上で必要な電気機器を使用することができる。

非常時

- 自社の倉庫や社屋の一部を地域の備蓄倉庫や一時避難所、災害救済所として指定を受けている場合に、容易に必要な電源の確保ができる。

取付方法



※フォークリフトが2台同時に接続が可能となります。
これにより、バッテリーが無くなったフォークリフトを別のフォークリフトへ交代する際にも電源は落ちることはありません。

設置事例

滋賀県：甲西陸運株式会社
中央物流センター 1F荷捌き場



非常時の 使用方法

停電



非常灯のみ点灯している

リフト出動



KEEPS起動



バッテリーと接続



照明点灯



フォークリフトの純正コネクターと接続するので
接続もカンタン！

仕様

		KDA48-100-30
機能	給電機能	30A以下
環境	設置場所	本体：屋内
	周囲温度	0℃～+45℃
	周囲湿度	20%～90%（結露なきこと）
	運転音	約45dB
機構	外形寸法・質量 (幅×高さ×奥行き)	本体・・・600 (W) ×700 (H) ×200 (D) mm 約30kg (ケーブル重量含まず)
	ケーブル	
受給部	入力電圧	48V
	入力電流	75A
供給部	出力電圧	単相AC100V×1相、50Hz/60Hz
	出力電力	3000W

お問合せ先

ベンチャーマテリアル株式会社
〒104-0042
東京都中央区入船1丁目2-5
高石ビル3F
TEL: 03-3553-5081



記載内容は、予告なく変更あるいは製造を中止する場合がありますので、ご注文に際しては最新の情報をご確認ください